

いばらきサイクルツーリズム構想

2019年2月
政策企画部 地域振興課

■ 現状・課題及び目指す将来像

- ・ 自転車活用推進法の施行や国の自転車活用推進計画策定など、国を挙げてサイクルツーリズム（日本を代表し世界に誇る「ナショナルサイクルルート」の創設等）をはじめとした自転車活用の気運が急速化
- ・ つくば霞ヶ浦りんりんロードを活用した地方創生の取組が着実に進展しているが、更なる誘客には情報発信や受入体制の整備などが必要
- ・ 本県には、山々や河川、海岸線などの自然環境や地域資源が豊富であり、これらを最大限に活かした全県的なサイクルツーリズムの可能性大

国内外からのサイクリストが何度も訪れたい魅力ある「**サイクリング王国いばらき**」の実現

■ 策定にあたっての基本的な考え方 **Point 1**

ターゲット :ターゲットを明確にしたうえで、セグメントに応じた施策を展開
推進体制:県・市町村・民間など様々な主体と相互連携を図る

■ 推進に向けた主な取組 **Point 3**

- ①ターゲットや地域資源のセグメント分けに応じた誘客の仕掛け
・サイクリングコースの設定、サイクリングツアーの推進 等
- ②効果的で多様な情報発信
・首都圏や海外でのサイクルイベントへの出展 等
- ③サイクリストの受入体制整備
・茨城空港や道の駅等のサイクル拠点化の検討 等
- ④自転車走行空間の整備
・自転車走行空間（サイン表示）の整備推進 等

■ 本構想の位置付け

茨城県総合計画～「新しい茨城」への挑戦～や、
現在策定中の「いばらき自転車活用推進計画」との連動を図る

■ モデルルートの設定 **Point 2**

県内各地域の豊富な地域資源を有機的に結び付けたモデルルートを以下の4つの視点から設定

- ①サイクリストのレベル ②魅力ある資源を繋ぐ ③ルートごとの特色を反映 ④安全・安心、快適性

